

# サクラやウメ枯らす 外来カミキリ

サクラやウメなどを枯らせる特定外来生物「クビアカツヤカミキリ（クビアカ）」の生息域が京都府近辺で広がっている。そんな中、生息地に近い山城地域への侵入を防ごうと、府が対策乗り出した。「防衛ラインのひとつ」と位置づける八幡市では職員向けの講習会を初めて開催した。観光や農業への被害が予想されることから、定着を食い止めたい考えだ。（長谷川拓夫）



クビアカツヤカミキリの標本。体色が黒く、脚が赤いのが特徴

# 山城への侵入防げ

クビアカツヤカミキリは、クビアカツヤカミキリ科のクビアカツヤカミキリ属に属する。体長は約10センチメートルで、黒い体色に赤い脚が特徴的だ。幼虫は木を食害し、成虫は樹皮を剥がれ、樹木を枯らす。京都府では、この害虫の侵入を防ぐため、防衛ラインを設定し、対策を講じている。八幡市では、職員向けの講習会を開催し、被害の防止策を伝えている。

## 「八幡は防衛ライン」 府、対策乗り出す

京都府は、クビアカツヤカミキリの侵入を防ぐため、防衛ラインを設定し、対策を講じている。八幡市は、防衛ラインの一つとして位置づけられている。府は、この害虫の侵入を防ぐため、防衛ラインを設定し、対策を講じている。八幡市では、職員向けの講習会を開催し、被害の防止策を伝えている。

## 見分け方や防除方法学ぶ

### 八幡 樹木医招き講習会



ネットを木に巻きつけてクビアカツヤカミキリを防除する方法を学んだ講習（八幡市八幡・徳川四ノ川公園周辺地区）

八幡市では、クビアカツヤカミキリの侵入を防ぐため、防衛ラインを設定し、対策を講じている。講習会では、樹木医が講師となり、見分け方や防除方法を学んだ。ネットを木に巻きつけて害虫を防除する方法が紹介された。

